

令和7年度 第1回「富富富」戦略推進会議

会議資料

令和 7 年産の生産状況について

農産食品課

1 令和 7 年産「富富富」の生産状況について

	H30	R 元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
栽培 面積 (ha)	518	1,113	1,282	1,392	1,445	1,640	2,355	2,805
生産量 (トン)	2,570	5,493	6,827	6,736	7,046	7,641	10,916	－
経営 体数	469	676	654	649	604	613	783	844
1 等 比率 (%)	98.8	90.9	96.4	96.3	95.6	93.5	96.8※	－
参考 コシヒ カリ 1 等 比率	88.5	84.7	90.9	95.1	87.0	50.6	90.7※	－

※R6 の 1 等比率は令和 7 年 3 月末現在の値。うるち全体では 90.7%。

令和7年産「富富富」申請状況（協議会別）

協議会	令和7年産（生産登録）		令和6年産実績		増減（R7-R6）	
	登録申請者数	見込面積 (ha)	登録者数	面積 (ha)	登録者数	面積 (ha)
JAみな穂「富富富」ブランド化推進協議会	96	688	87	512	9	176
黒部「富富富」ブランド化推進協議会	39	157	38	149	1	8
JAうおづ「富富富」ブランド化推進協議会	60	170	59	154	1	17
JAアルプス「富富富」ブランド化推進協議会	168	505	154	446	14	59
JAあおば「富富富」ブランド化推進協議会	68	182	56	114	12	68
JA富山市『富富富』ブランド化推進協議会	104	170	94	135	10	35
JAなのはな「富富富」ブランド化推進協議会	49	145	42	136	7	9
射水市「富富富」ブランド化推進協議会	19	98	20	86	△ 1	12
高岡市農業技術者協議会	50	77	46	68	4	8
氷見市「富富富」ブランド化推進協議会	38	124	35	116	3	8
いなば農業技術者協議会	79	321	74	273	5	48
JAとなみ野「富富富」ブランド化推進協議会	69	161	71	158	△ 2	4
なんと特別栽培米生産組合	2	4	2	3	0	1
福光農業改良協議会	3	2	5	6	△ 2	△ 4
合計	844	2,805	783	2,355	61	450

令和7年度「富富富」生産対策の取組み状況について

農産食品課
農業技術課

(1) 品質、食味、収量向上対策関係

区分	担当	目的、品種及びほ場数
富山米総点検運動	米対 (農食)	「コシヒカリ」および「富富富」の重点技術実施状況を確認し、品質向上対策を徹底 調査ほ : コシヒカリ 44 か所、富富富 25 か所 地域全体 : 地域を 22 か所にまとめて報告
水稻生育観測ほ	農技	・ 移植栽培の生育を把握し、適切な技術対策を実施 「コシヒカリ」 : 16 か所 「てんたかく」 : 7 か所 「てんこもり」 : 4 か所 「富富富」 : 4 か所
プラスチック削減全量基肥 肥料栽培実証 (グリーンな栽培体系加速 化事業)	農技	・ J コート・SCU コート混合肥料の実証 (移植「富富富」) 4 か所×対照、試験
水稻新品種実用化促進事業	農技	・ 富富富の収量性向上のための技術実証 4 か所×対照、試験

(2) 「富富富」生産拡大に向けた主な取り組み

ア 「富富富」地域協議会支援事業

「富富富」地域協議会における生産者登録制度に係る申請・確認事務、生産・出荷体制の確立や食味・収量向上等のための活動を支援

イ 「富富富」種子生産加速化支援事業

「富富富」の普及拡大に合わせ、種子の増産、(直播栽培等) 種子保管のための調整経費、病害等発生防止対策経費(周知チラシ、発生防止研修会開催等)を支援

ウ 温暖化に対応した米産地転換促進支援事業

(ア) 「富富富」モデル産地育成支援事業

地域の特性に対応した栽培方法や、推進体制を確立・普及する取組みを支援し、「富富富」への切替えを加速化するモデル産地を育成

(イ) 「富富富」生産拡大加速化支援事業

温暖化に対応した米生産への計画(R7, 8, 9の3ヶ年分)を策定し、富富富の面積を3ha以上拡大する経営体に対し、「コシヒカリ」から「富富富」への切替えを支援

エ 「富富富」生産拡大乾燥調製施設整備支援事業

「富富富」の生産拡大に必要な水稻の乾燥調製(貯蔵)施設の改修等を支援

令和8年産「富富富」の生産者募集について（案）

農産食品課

1 主な募集要件

「富富富」は生産開始から8年目を迎え、地域単位でのまとまった生産拡大など、一定の定着がみられる。

高温などの気象変動に対応できる産地を目指し、「富富富」の生産拡大に向けて、生産しやすい環境づくりを一層進めていくため、以下のとおり要件を設定する。

◆生産者登録の考え方および主な要件等（案）◆

下線部は、昨年からの変更点

【募集対象】

- ・富山県内に在住、かつ、富山県内で農業を営んでいる個人又は組織
- ・生産者登録要件を遵守し、良食味・高品質生産を意欲的に行える方

【基本要件等】

- ・地域協議会の指導に基づき適切な栽培管理を行うこと
- ・流通基準に基づく区分出荷・販売に同意すること
- ・収穫物は区分管理し農産物検査を受けて、「出荷・販売計画」に基づいて出荷・販売すること
- ・生産技術向上のため、生産者等で組織される地域協議会に参加すること

【流通基準】

- ・検査等級：1等
- ・化学合成農薬の成分使用回数：12以内

【その他】

- ・品質目標：玄米水分 14.5～15.0%
玄米タンパク質含有率（水分15%換算値）6.4%以下
- ・密苗栽培、乾田V溝直播栽培、湛水直播栽培（鉄、リゾケア含む）による低コスト栽培を行うことができます
- ・新市場開拓用米（輸出用米）などの新規需要米、加工用米、備蓄米として取り組むことができます

2 募集期間

「10月上旬～12月中旬」 ※昨年から変更なし

令和7年産「富富富」の生育状況と当面の技術対策について

農 業 技 術 課
広域普及指導センター

1 生育状況（生育観測ほ等データ）

近年に比べ、草丈、茎数は並、葉色は淡く、葉齢は0.3葉進んでいる。
葉齢を揃えて比較すると、近年に比べ、草丈、葉色は並、葉色は淡くなっている。
幼穂形成期は、近年並の7月13日となった。
今後、平年並の気温で推移した場合、出穂期は近年並の8月4日頃と見込まれる。

表1 「富富富」の生育状況（7月15日 生育観測ほ等）

年次	田植日 (月/日)	草丈 (cm)	茎数		葉齢 (L)	葉色		幼穂 形成期	出穂期
			(本/株)	(本/m ²)		葉色板	SPAD		
R7	5月17日	70.8	23.5	512	12.5	4.1	35.1	7月13日	(8月4日)
R6	5月17日	71.9	25.9	567	12.6	4.2	37.9	7月13日	8月4日
近年	5月15日	69.2	24.5	529	12.2	4.2	37.3	7月13日	8月4日
前年比・差	0	99	91	90	-0.1	-0.1	-2.8	0	(0)
近年比・差	2	102	96	97	0.3	-0.1	-2.2	0	(0)

注1) R7：10ほ場平均（生育観測ほ：4ほ場、新品種実用化・ブラ削減 対照区：6ほ場）

注2) 近年値：H29～R6平均

注3) 本年の幼穂形成期及び出穂期は予測値

2 当面の技術対策

現在、高温で経過し、葉色が淡いことから以下の管理を行う。

- ①出穂期までの飽水管理による葉色低下の防止
- ②出穂後20日間の湛水管理による稲体活力維持

(1) 水管理

- ・出穂期までは、稲体の活力を維持するため、飽水管理を行う。ただし、葉色が濃い場合は、間断かん水を行う。
- ・出穂後20日間は湛水状態を保ち、登熟期間の稲体活力を維持する。
- ・出穂後20日間の湛水後、刈取り5～7日前までは間断かん水を行い、胴割米の発生を防止する。

(2) 肥培管理

- ・肥効調節型基肥栽培では、原則、追加穂肥は施用しない。ただし、現在葉色が急激に低下していることから、出穂7日前のSPAD値が32（群落葉色4.2）未満と淡い場合は、出穂3日前までに窒素成分で1.0kg/10a程度の追加穂肥を行う。
- ・分施栽培では、穂肥は生育量（表2）に応じて、表3を目安に1回目を幼穂形成期の7日後頃、2回目を1回目の7日後に施用する。

表2 幼穂形成期の生育の目安

草丈 (cm)	m ² 茎数 (本/m ²)	SPAD	群落葉色	生育量	
				SPAD	群落葉色
62	580	35	4.0	125	140

注) 生育量 SPAD：草丈×茎数×SPAD÷10,000

群落葉色：草丈×茎数×群落葉色÷1,000

表3 穂肥施用量の目安（分施）

幼穂形成期 の生育量	N施肥量 (kg/10a)	
	1回目	2回目
適正	0.75～1.0	1.5
過剰	0	1.5

令和7年度「富富富」の販売・PRの取組み状況について

市場戦略推進課

「富富富」の生産拡大を進める中、第三期戦略に基づき、中食・外食用の需要拡大を図りつつ、若い世代を中心に家庭用需要を拡大させ、県内・全国での浸透を図っていく。県内外の消費者のリピート購入、ファン獲得につながるよう、情報発信ツール等を活用したPRや、キャンペーン活動、実需者の販売活動支援などを展開する。特に、「寿司といえば、富山」や「富山マラソン」など、他の事業と連携したPRを通し、美味しさとともに、「富富富」が身近であると感じることが出来る取組みを進める。

1. 令和7年度の販売・PRについて（主なもの）

(1) 富富富ナビゲーター

イベントやメディアを通じて富富富の魅力発信に協力いただく。

- ・池田航さん（南砺市出身の俳優。ナビゲーター3年目。）
- ・登坂絵莉さん（高岡市出身のレスリング金メダリスト。今年度ナビゲーター就任。）



(2) 富富富レシピコンテスト（主に県内対象）

【募集期間～9月14日まで、優秀作品の表彰10月26日】

令和6年度から開始2年目。「富富富」を使用した消費者参加型の料理レシピコンテストを開催。入賞作品の表彰や、料理実演はとやまグルメ・フードフェス 2025 内での実施を予定。おにぎりやお弁当などの「わが家コース」、「寿司といえば、富山」プロジェクトとの連動を図った「すしコース」の2つのコースを設定。



(3) 各種メディアでの放送

① テレビ関連 (CM、ミニ番組放映)

料理レシピコンテストの入賞作品を池田航氏が調理する動画にコンテンツ化。
テレビミニ番組での放送やWebサイトでも積極的に配信予定。

② CM、SNS用の作成予定動画

- ・池田航氏考案レシピ動画 (1本)
- ・登坂絵莉氏考案レシピ動画 (2本)
- ・レシピコンテスト受賞作 (未定、受賞レシピ数)
- ・「富富富」生産農家動画 (4本)
- ・「寿司といえば、富山」連動PR動画 (2本)
- ・R7版給食動画 (1本)
- ・CM用新米時期動画 (2種×2尺=4本)



(4) SNSを活用したPR

各種イベントやフェアの周知はもちろん、SNSを活用したキャンペーンを実施。

① 料理レシピ・トレンドを発信する「おうちごはん」とタイアップしたPR (主に県外対象)

Instagram 投稿キャンペーン「おうちごはん (消費者参加型PR)」【10月～12月】

参加者を募集し、当選者へは「富富富」2kg 等を送付し、「富富富」を活用したアレンジレシピ等を投稿してもらう。投稿によって「富富富」について広く発信してもらうと同時に、投稿者にも「富富富」のおいしさを体験してもらうキャンペーン。

●おうちごはんキャンペーン

「おうちごはん」
おうちごはん

総フォロワー数約99万人の食生活メディア。
料理を積極的に楽しみ、ひと手間やアレンジを加えるなど料理リテラシーの高い
ユーザー会員といっしょに参加型施策を実施可能。

Instagram・X (旧Twitter)・TikTok・Facebook・YouTube・PinterestなどのSNSを活用してレシピ・トレンドを発信。
高標準満みのオリジナルハッシュタグ「#おうちごはん」の
投稿は、累計投稿数が3,260万件を超え定着化しています。

2023年10月～12月
参加者数 約99万人
累計投稿数 約3,260万件
平均年齢 25-44歳
性別 7割女性



② #キャンペーン「毎月2のつく日は『#みんなで富富富』!」【10月～2月】

富富富公式アカウント (X) をフォローし、対象投稿をリツイートした者を対象に、抽選で毎月22名に「富富富」2kg をプレゼントするキャンペーン (リピート実施)。

(5) 富富富認知度調査

地域別（県内、首都圏、中京、関西）の富富富の浸透を調査し、効果的・効率的な広報宣伝を実施。

速報値

調査対象	Q1 認知度	Q2 ロゴ認知度	Q3-1 購入あり
関東	15.5%	20.3%	20.6%
近畿（関西）	13.7%	17.9%	18.0%
中京	19.8%	25.0%	14.1%
富山県	92.6%	93.9%	23.5%

- 調査対象: 関東・近畿（関西）・東海（中京）の三大都市圏と富山県の20～60代男女。
サンプル数: 関東 3,000 名、近畿 1,500 名、中京 1,500 名、富山県 500 名。
- 調査目的: 富山県のお米「富富富」の認知度を把握し、今後の PR 計画の参考にする。
- 調査方法: インターネットアンケート調査。
- 調査期間: 2025 年 5 月 30 日～6 月 4 日。
- 調査機関: 株式会社ビデオリサーチ

2. 富富富のPRイベント等について（主なもの）

《 県内 》

(1) 令和7年産「富富富」出荷式 【10月1日（水）】

生産者・流通関係者出席のもと、新米「富富富」の出荷式を実施 [主催：全農富山県本部]

(2) 「富富富」飲食店フェア 【10月～11月】

- 「美味しい富山米の店」や「富山湾寿司」提供店等と連携した「富富富」を使用したメニューの提供・PRを実施。

（参考：昨年参加店舗：77 店舗（県内 42、県外 35））

(3) 購入促進キャンペーン 【12～2月（予定）】

- 富富富の米袋についているシールを集めて、地産地消アプリ「食ベトクとやま」アプリで応募すると、抽選で富富富をプレゼントするキャンペーンを実施。

(4) とやまグルメ・フードフェス 2025 でのPR 【10月25日（土）、26日（日）】

- 富富富料理レシピコンテスト表彰式、優秀作品の料理実演・試食
- 富富富ナビゲーター（池田航氏、登坂絵莉氏）によるトークショー
- 来場者へ抽選でお米等が当たる富富富大抽選会

(5) 県内スポーツイベントでのPR

① 「富山マラソン」(「富富富」おにぎりの配布等)

【11月2日(日)】

- ・県内外の人が多く集まる富山マラソンの場で、「富富富」おにぎり3万個(塩むすびと梅)をランナー(ゴール直後)、観客(ゴール付近)等に配布。
- ・富山マラソン(第10回記念大会)側の広報も通じて、「富富富おにぎり配布」をPRする。



② 他のスポーツイベント

各種スポーツイベントにて「富富富」などの富山米を使用したおにぎり等を配布。

(6) 「2のつく日はみんなで『富富富』PR【10月～2月】

「2のつく日はみんなで『富富富』」として「富富富」を広く県民へ周知することで、興味・関心と購買意欲向上を目的とする。

- ・10月から1月までの毎月「2日・12日・22日」の2のつく日に、テレビCMや新聞広告、SNS広告を掲載
- ・「2のつく日」にレシピ動画等を特設サイトへアップ
- ・毎月22日に食品スーパーの駐車場や店頭にキッチンカーを設置し、炊きたて「富富富」の試食や、旬の食材とコラボしたおにぎりなどを提供 等



今後、キッチンカーを富富富ラッピングに

(7) 「寿司といえば、富山」との連動PR

県内の親子等を対象に「寿司といえば、富山」体験モニターを募集。「富富富」を使用する寿司店での飲食や、ます寿しづくりの体験などは、動画コンテンツとして製作・配信。

(8) 学校給食でのPR

① 学校給食富富富提供支援事業

小中学校の米飯給食で「富富富」提供を支援(事業実施主体: J A富山県中央会)
令和4年度から通年で実施。給食使用量のほぼ全量 R6実績: 979ト

② 給食教育用動画、富富富マガジンの配布

「富富富」や富山県の米づくりを深く知り、好きになって、もっと食べてもらうことを目的に、給食用動画の学校への配布や令和7年度版富富富マガジンの全児童生徒へ配布。

《 県外 》

(1) 有楽町駅前広場での「富山フェア」【10月4日(土)】 [主催：全農富山県本部]

・「富富富」をはじめとする富山米や農産物等をPR販売。

(2) 日本橋とやま館「富富富新米フェア」【10月4日(土)～10月16日(木)】

・パネル、ポスター等の展示、テレビCM・PR動画の放映

・新米発売記念 富富富ナビゲーター（池田航氏、登坂絵莉氏）との販売イベントの開催（10月4日(土)）

(3) 「富富富」飲食店フェア 【10月～11月】

・県内飲食店と同様に県外飲食店でも「富富富」を使用したメニューの提供・PRを実施。

（参考：昨年参加店舗：77店舗（県内42、県外35）

(4) 量販店等でのPR

・県外のスーパーなど小売店において、全農富山県本部等と連携した試食販売等のプロモーションの企画、実施。

・首都圏・・・ 11月 イオンレイクタウン（埼玉）

・関西圏・・・ 11月 HOKURIKU+（大阪）

・中京圏・・・ 2月 （名古屋）

3 PRツール等の制作

(1) 「富富富」マガジンの制作

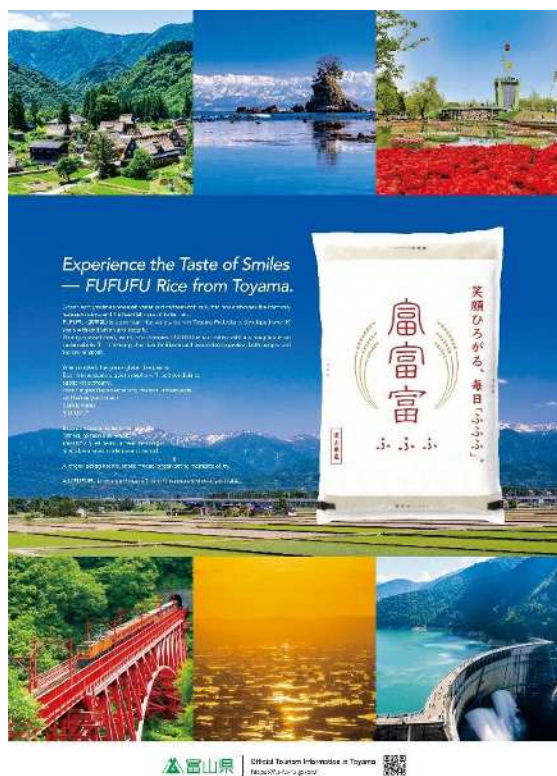
県内の小中学生に配布用として制作。内容は「富富富」についての他、レシピコンテスト受賞作品を掲載し、より県内の児童生徒が「富富富」への理解を深めてもらえるようレシピ動画のQRコードを入れ、家庭でも気軽に調理できるよう、活用面も工夫。

② PR資材作成

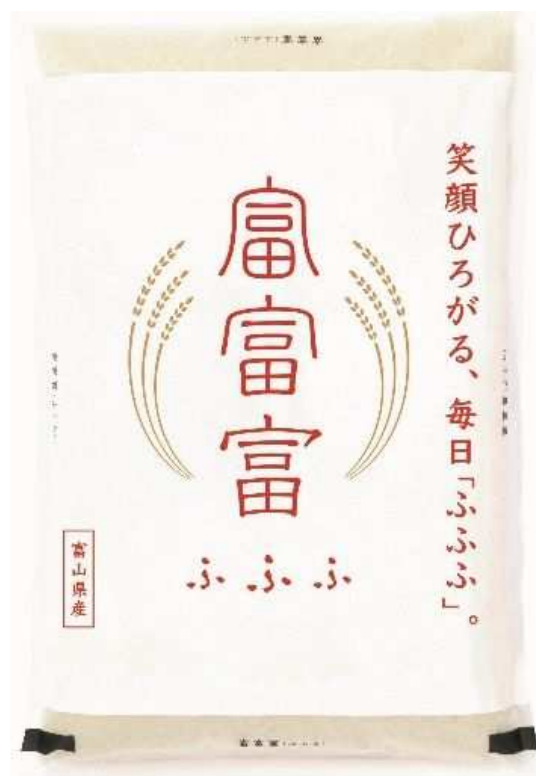
新キャッチコピー「笑顔ひろがる、毎日『ふふふ』。」をベースに各種PR資材を作成。

また、海外展開やインバウンドへの対応として、英語版ポスターも併せて制作予定。





海外向けポスター



新キャッチコピー入り米袋



参考) 今後のPRイベント等スケジュールについて (予定)

月	内容等
9月	・～14日 レシピコンテスト募集
10月	・1日 「富富富」出荷式 ・3日～17日 instaglam おうちごはん募集期間 ・3日～ 首都圏フェア開催 ・4日 首都圏フェアキックオフ ・上旬～ 県内フェア開催 ・10日 県内フェアキックオフ ・15日～ SNSでの動画等配信① (～11月15日) ・25日、26日 レシピコンテスト表彰、受賞レシピの実演 (とやまグルメ・フードフェスにて) ・上旬頃～ ハッシュタグキャンペーン開始 (～2月末) ・上旬頃～ 2のつく日PRキャンペーン開始 (～2月22日) ・上旬頃～ 給食動画放映開始 ・中旬頃～ CM放映① (～11月) ※県内は上旬からの放映を予定 ・時期未定 生産農家の動画配信開始 (4本) ・時期未定 「寿司といえば、富山」動画配信開始 (4回)
11月	・1日、2日 富山マラソンにてランナー他へのおにぎり配布 ・12日以降 おうちごはん当選者による投稿の開始 (～12月3日)
12月	・上旬頃～ KNBミニ番組放映 (～2月、全8回)
1月	・中旬頃～ CM放映② (～2月) ・下旬頃 「富富富」マガジン完成、県内児童へ配布
2月	・15日～ SNSでの動画等配信② (～3月10日)

「富富富」戦略推進会議設置要領の改正について

別紙のとおり、「富富富」戦略推進会議設置要領を改正する。

主な改正点の概要

- ・ 生産登録部会の権限の明確化
- ・ 要領上の委員長・委員の役職の更新

「富富富」戦略推進会議設置要領 (改正案 0724 現在)

旧	新
(「富富富」戦略推進会議の設置) 第1条 富山県が開発した水稻新品種「富富富」の良食味・高品質生産と効果的なプロモーション活動の展開により、「富富富」が本県を代表するブランド米として育つよう、関係機関・団体等からなる「富富富」戦略推進会議(以下、「推進会議」という。)を設置する。	(略)
(所掌事務) 第2条 推進会議は、次に掲げる事項を所掌する。 (1)「富富富」のブランド化に関すること (2)「富富富」の生産対策に関すること (3)「富富富」の流通・販売に関すること (4)「富富富」のPRに関すること (5)その他必要な事項	(略)
(構成) 第3条 推進会議は、別表1に掲げる者で構成する。 2 推進会議に委員長を置き、委員長は富山県農業協同組合中央会長を充てる。	2 推進会議に委員長を置き、委員長は富山県農業協同組合中央会代表理事会長を充てる。
(委員長の職務) 第4条 委員長は、推進会議を代表し、会務を総理する。 2 委員長に事故あるときは、委員長があらかじめ指名する者が、その職務を代行する。	(略)
(推進会議の開催) 第5条 推進会議は、必要に応じて、県が招集する。 2 委員長は、必要があると認めるときは、第3条第1項に定める者以外の出席を求め、意見を聞くことができる。 3 委員が、出席できないときは、代理人を出席させることができる。	(略)

(「富富富」生産者登録検討部会の設置) 第6条 「富富富」の生産者登録の審査を行う、「富富富」生産者登録検討部会（以下、「検討部会」という。）を設置する。 2 検討部会は、別表2に掲げる者で構成する。 3 検討部会は、必要に応じて、県が召集し、会議の座長は、別に定めるものとする。 <u>(新設)</u>	(「富富富」生産者登録検討部会の設置) 第6条 「富富富」の生産者の登録審査を行う、「富富富」生産者登録検討部会（以下、「検討登録部会」という。）を設置する。 2 検討登録部会は、別表2に掲げる者で構成する。 3 検討登録部会は、必要に応じて、県が召集し、会議の座長は、別に定める富山県農林水産部次長又は参事（技術）がこれにあたるものとする。 4 登録部会は、申請のあった生産者を審査したうえ、生産者を登録するものとする。 5 登録部会開催後は、その結果を推進会議に報告するものとする。
(幹事会の設置) 第7条 推進会議の所掌事項について、効率的な検討を図るため幹事会を設置する。 2 幹事会は、別表3に掲げる者で構成する。 3 幹事会は、富山県農林水産部次長（技術）が必要に応じて召集し、会議の座長は、富山県農林水産部次長がこれにあたるものとする。	3 幹事会は、富山県農林水産部次長又は参事（技術）が必要に応じて召集し、会議の座長は、富山県農林水産部次長又は参事（技術）がこれにあたるものとする。
(事務局) 第8条 推進会議に係る事務局は、富山県農林水産部市場戦略推進課に置く。	(略)
(その他) 第9条 この要領に定めるもののほか、推進会議の運営に必要な事項は、委員長が別に定める。	(略)
(附 則) この要領は、平成30年6月29日から施行する。 この要領は、令和4年7月7日から施行する。	この要領は、令和7年 月 日から施行する。

「富富富」生産・販売・PR戦略

〇15年の歳月をかけ、高温に強い品種として平成30年に本格デビュー。令和5年の猛暑など地球温暖化を見据え、生産と消費・需要拡大を関係機関と連携して進める。[令和6年3月策定 戦略期間:令和6年度～令和10年度]

	R4	R5	R6	R7見込
栽培面積 (ha)	1,445	1,640	2,355	(2,805)
生産量(トン)	7,046	7,641	10,916	(14,000)

R10(目標)	10,000	(50,000)
---------	--------	----------

目標達成に向けた対策

〇生産対策

…:生産者が取り組みやすい環境づくり

①高品質・良食味・低コスト生産の推進

- ・地域の特性に応じた収量・食味安定化技術の確立・普及
- ・肥料2割、農薬3割減により、環境にやさしく低コストな生産
- ・生産者登録制度等の検討など

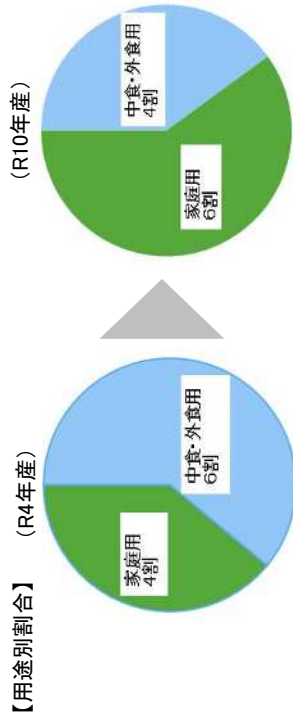
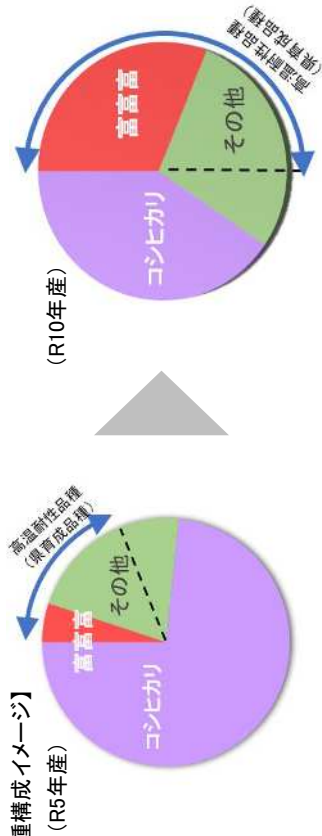
②生産しやすい環境づくり

- ・地域での指導体制の強化
- ・JA等の乾燥調製施設の受入体制づくりの加速化
- ・種子の計画的な生産と供給 など

＜生産面のメリット＞

- ✓高温に強く1等比率が高い
- ✓草丈が短く倒伏しにくい
- ✓肥料・農薬の削減で、低コスト化や環境負荷の低減につながる

【品種構成イメージ】



〇販売・PR対策

…流通・販売事業者や消費者から選ばれるアプローチ

①バランスのとれた需要・消費拡大の推進

- ・中食・外食用の需要を維持しつつ、家庭用を拡大 (家庭用6割、中食・外食用4割をめざす)

〇家庭用の拡大 …食べてもらう、知ってもらう機会の創出

- 学校給食など若い世代への浸透
- 効果的な情報発信 (SNS、マガジン等)
- 多様な食べ方の紹介(料理レシピコンクール等)
- 小売店舗等での試食・PR販売 など



(富富富+富山湾鮭)

〇中食・外食用の拡大 …中食・外食事業者の継続活用支援

- 富富富活用商品やメニューのPR、フェア開催支援 など

②流通・販売事業者・消費者へのアピール

- ・キャッチコピーの見直し等によりアピールを強化
現行「うまみ。あまみ。ふと香る。ほほえむうまさ、富山から。」
- ✓猛暑などの環境下においても安定した品質
- ✓「弁当やおやにぎりに合う」「あっさりして様々なおかずに合う」等の用途の広さ
- ✓環境に配慮した米づくり など



③海外市場のニーズの掘起しと輸出拡大